

## 第 17 回資源循環型肉牛生産シンポジウム 2020

日本産肉研究会第 26 回学術集会

開催企画書

開催趣旨：

シンポジウムテーマ「新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験乗り越えて次の畜産を考える～これからの新しい社会システムにおける畜産の生産、販売及び消費を見直す～」

これまでの日常的な生産活動や経済活動が新型コロナウイルスによって崩れかけている。これは近代世界、畜産に対する警鐘ではないだろうか。

畜産業界は近年、大きな波をいくつも乗り越えてきた。鳥インフル、口蹄疫の大量処分、BSE の発生、放射能汚染わら、ユッケ生食事件、レバー生食禁止、全て風評被害がまとわりつき、それに合わせ畜産物の価格相場が乱高下した。今回の新型コロナウイルスでも経済活動がストップし、生体、牛肉相場が崩れた。いかに国内の畜産がインバウンド系の消費に依存していたか明確になったと思う。この前代未聞の渦中でも生産者は肉牛、乳牛を飼養し、流通業者は加工、販売していかなければいけない。新型コロナウイルスが収まればそれでいいのだろうか。今こそ、生産、流通、消費、研究者が改めて目線を同じにして、新型コロナウイルス感染症を乗り越えた先の新しい畜産を模索すべき時ではないだろうか？この見えないウイルスはかしこい。我々の今の業態で耐えられるだろうか？国内の反芻家畜生産は、ヨーネ病や白血病のような未解決の伝染病への対応も迫られている。畜産業界はウイルスと共存できるだろうか？国際化と防疫の折り合いをどのように付けて共存してゆけばよいのだろうか？本シンポジウムでは、これらの「？」を皆さんに問いたい。

環境リサイクル肉牛協議会と日本産肉研究会は共通の目的として「持続可能な畜産」を掲げています。家畜の人畜共通感染症の基礎を改めて学ぶとともに、真の持続可能な畜産の確立のため新型コロナウイルスで経験している「今」を生産者、流通業者、消費者の目線でご講演いただき、新たな畜産体系の構築の礎となるように環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会両会ほか北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市の共催でシンポジウムを開催します。

日 時：2020 年 10 月 29 日(木) 13:00-17:00

会 場：とちちプラザ（帯広市）2 階 視聴覚室

共 催：環境リサイクル肉牛協議会、日本産肉研究会、北海道アンガス牛振興協議会、北海道短角牛振興協議会、北海道オーガニックビーフ振興協議会、帯広市

後 援：帯広畜産大学、北海道十勝総合振興局、芽室町農業協同組合、十勝農業協同組合連合会、北海道総合研究機構畜産試験場、北海道酪農畜産協会、NHK 帯広放送局、北海道新聞帯広支社、日本農業新聞北海道支所、十勝毎日新聞社

参加費： 無料

内 容：（13:00-17:00）

1. 基調講演 「畜産における人畜共通感染症」（仮）  
講演者：北里大学獣医学部獣医衛生学研究室 教授  
兼 附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場 牧場長 高井伸二氏
2. 話題提供 1. 「生産者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」（仮）  
北十勝ファーム 社長 上田金穂氏  
話題提供 2. 「流通業者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」（仮）  
マルハニチロ株式会社 課長代理 岩崎方保氏  
話題提供 3. 「消費者視点での新型コロナウイルスの影響と対策」（仮）  
㈱グロッシー 代表 北村 貴氏  
話題提供 4. 「肉牛専用種枝肉共励会の成績について」  
司会 帯広畜産大学 教授 口田圭吾氏と受賞生産者
3. パネルディスカッション パネラー：講演者、消費者代表

例年行っている下記事業は、中止いたします

- ・ 意見交換会 eビーふ 試食会
- ・ 現地検討会

新型コロナ対策

- ・ **入場制限**           **会場収容人数の 50%以下先着 80 名 事前予約**
- ・ 入口での対応   名簿記載確認・消毒・検温ほか

参加対象者および参加予定人数：

道内肉牛生産者、管内農業団体関係者、流通業界関係者、消費者団体関係者  
大学・試験研究機関関係者   約 80 名（入場制限：新型コロナ対応）

実行委員会：

（環境リサイクル肉牛協議会）左 久、花房俊一、佐藤幸信、青山次郎、  
奈良岡善之、岩崎方保、西道由紀子  
（日本産肉研究会）松崎正敏、後藤貴文、柴田昌宏、小笠原英毅  
（北海道アンガス牛振興協議会）内藤順介  
（北海道短角牛振興協議会）   高橋祐之

事務局：（特非）環境リサイクル肉牛協議会 花房俊一

〒080-0351 北海道河東郡音更町字然別北 5 線西 25 番地 2 北の牧場舎気付  
Tel/Fax:0155-40-7301 e-mail: kanrikyo@e-beef.jp

シンポジウム申込み先：

（地独）道立総研機構 畜産試験場 肉牛 G 西道由紀子

Tel:0156-64-5321(内 2331)Fax:64-3212 e-mail: nisimiti-yukiko@hro.or.jp